

令和6年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修参加報告

フィールド科学系部門生物生産技術班 桧山 昇子

1. はじめに（目的等）

中国・四国地区国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の技術職員相当の職員にある者に対して、その業務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たな専門知識、技術等を習得し職員としての資質向上を図るため本研修に参加した。

2. 期間・場所

開催地等： 島根大学 松江キャンパス（全体講義，専門分野実習（情報処理分野））
松江工業高等専門学校（専門分野実習（土木・建築分野，電気・電子分野））

3. 参加者等

中国・四国地区の国立大学法人及び国立高等専門学校機構の構成員 計28名

4. 研修内容

2024年8月21日（水）

全体講義Ⅰ（管理運営）

「国立大学の現状・将来課題と技術職員の役割」

島根大学 理事 増永 二之 氏

全体講義Ⅱ（土木建築分野）

「建設×デジタルによるインフラDXを牽引する次世代技術者教育」

松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授 大屋 誠 氏

2024年8月22日（木）

分野別実習

情報処理 実習 「Microsoft Power Platformを用いた業務支援ツールの開発」

土木・建築 見学 「尾原ダム見学」

実習 「UAV写真測量・GNSS測量，UAVを用いた3次元地形測量」

電気・電子 実習 「シリアルインターフェース付きセンサ使用時における接続方法の比較実験」

2024年8月23日（金）

全体講義Ⅲ（情報処理分野）

「データサイエンス概論」

島根大学 数理・データサイエンス教育研究センター 助教 瀬戸 和希 氏

全体講義Ⅳ（技術組織）

「技術職員組織と支援業務事例紹介」

島根大学 総合科学研究支援センター 技術専門職員 山根 冬彦 氏

松江工業高等専門学校 実践教育支援センター 技術長 川見 昌春 氏

5. まとめと感想

1日目の全体講義では国立大学の現状について改めて知り、それに伴う技術職員の役割等の変化について知ることができた。

2日目の分野別研修では私は情報処理実習を受講した。Microsoft Power Automateを初めて使用したが、基礎的な操作を理解することができ、今後応用し、業務を少しでも効率的に行えるようにしていきたいと感じた。

3日目の全体講義では実際に行われている支援業務について知ることができた。そして2日目で使用したMicrosoft Power Automateを実際にどのように使用しておられるのかを知ることができた。

さらに3日間を通して多くの大学および高等専門学校の方々と交流することができ、有意義な時間を過ごすことができた。